

対馬・壱岐 現地体験レポート（令和7年3月5日～3月7日）

対馬のレポート 株式会社パルネット 吉田友美

対馬空港

山岳空港のため風・霧に弱い
今回の視察時は強風で欠航となり
4時間後の次便利用しましたが就航率は
90%との事でした

荷物受取のターンテーブル 1つのみ
写真撮影場所はゲート外から出口も1つ
のみですので現地スタッフとの待ち合わせ
で迷う心配はありません



対馬全土の見どころを観光するのであれば2泊は必要（北部1泊、南部1泊）
淡路島とほぼ同じ面積で縦に長い島、上端から下端まで約2時間30分
宿泊はビジネスホテルが多い 朝食のみホテルで夕食は外の店舗へ
温泉付きの宿は南部の「対馬グランドホテル」1件のみ（館内エレベーター無し 3階建て）
温泉はあるが中心地（厳原）までは車で15～20分と少し距離あり

元寇での蒙古襲来・日本海海戦・朝鮮半島との通信歴史など、歴史的背景の島であり
対馬北部から韓国釜山へ船で1時間10分と国境の島でもある

対馬宿泊 ～ 船で釜山へ渡航 ～ 釜山から関空や羽田など各地へ
上記のような形式の「ボーダーツーリズム」もあり

島内に神社が210社もあり、神社庁の延喜式神名帳に登載された式内社は29社
壱岐島内に24社があり九州全土の式内社の約半数が対馬・壱岐にある

学校や教科書で習った歴史の中で対馬での状況を聞けるので
歴史的背景に興味のある人、年齢層が高めのグループには受けが良いと感じました
食事場所や宿泊施設のキャパシティなど考慮すると、大型バス2台50名程度の団体が
人数の限界かと思われます

歴史的背景など専門ガイドを依頼せずとも、バスガイドが全て案内・解説してくれました
北部の観光場所

対馬野生生物保護センター（10時～17時）

国の天然記念物である「ツシマヤマネコ」を見られる

国内8カ所の動物園でも飼育されておりイリオモテヤマネコと違い実物を見られるのは珍しい

三宇田浜・殿崎（日露友好の丘）

断崖から北部の海を望める景勝地

日露戦争での戦没者の碑

佐世保病院に入院していたロシア提督を見舞う東郷平八郎の絵を元にした石碑

韓国展望所・豊砲台

豊砲台は台風により法面が崩れ2025年3月現在 観光不可

韓国展望所からは天候が良ければ釜山の街並みまで見られます（釜山まで約50km）

手前に航空自衛隊の基地があり、基地越しに見る釜山

釜山の夜景・花火大会の花火なども見られるそうです

北部エリアでの宿泊利用ホテル

東横 INN 対馬比田勝

ダブルベットの部屋をシングル利用 部屋は広め

ユニットバスですがバスタブも大きめでした

ホテル隣に温泉入浴施設あり（別料金 営業21時まで）

シャワーの水圧がゆるめなこと、朝食ビュッフェが10品程度で品数少なかったことが
マイナス面でしたが海側の部屋を指定すれば部屋から水平線を眺められ眺望は良いです

夕食場所

ホテルから車で5分ほどの場所に複数あり（バス駐車場から徒歩3分～7分）

周辺の店舗は昼食も営業しているお店が多いが昼食予約は難しい

釜山から入港するターミナルが近く、到着時間が11時前のために韓国人団体で
予約満席の場合が多いため

韓国人が宿泊の場合は南部へ行くことがほとんどなので夕食予約は取りやすい

北部地区で昼食予約が取れない場合の代案

韓国展望所よりバスで30分ほど南へおりてきた場所

上県（かみあがた） そば道場

中部～南部の観光場所

海神神社

駐車場から階段を上るが5分ほどで本殿まで行ける

2012年に韓国の窃盗団が宝物殿から「銅造如来立像」が盗んだ場所

こちらの渡来仏は2015年に返還されたが現在の保管場所は非公開

対馬はその歴史から渡来仏が多く、お寺以外に神社などで保管されている物もある

和多都美神社

駐車場から5分ほど坂道をくだった先に鳥居があります

湾内の海上から本殿に向かって5本の鳥居が連なっている風景が有名な神社です

宮司様が参拝マナーを重視され（社殿内禁煙、鳥居に乗らないなど常識的なこと）

一時は韓国人参拝お断りの看板もあったそうです

海にあった鳥居の1本が台風で折れ、クラウドファンディングにより新設

折れた鳥居は神社内に「身代わり鳥居」として祀られています

最近流行りの御朱印も切り絵タイプのものなど複数ありますが、宮司様が複数の神社を

兼任されており不在時はいただけません

和多都美神社とセットになる烏帽子岩展望台 現在がけ崩れにより通行止めのため観光不可



下記の4カ所は場所が近いためバス駐車場から徒歩移動で観光

万松院

対馬藩主である宗家の当主のみの菩提寺

本殿内に対馬市指定有形文化財に指定されている三具足（朝鮮王国から奉納された仏具）が展示されており囲いもなく1mほどの距離から直に見られる

藩主の墓までは階段が131段 + 10数段ある 墓まで往復で所要20分ほど



対馬朝鮮通信使歴史館

館内での写真撮影不可 当時の衣装を羽織れる箇所でのみ撮影可能

対馬と朝鮮半島との交流の歴史など資料とともに解説展示

対馬博物館

館内での撮影可能（フラッシュ撮影・動画は禁止）

2022年4月に開館 近代的な建物

基本的にガイド同行での案内は不可

朝鮮半島との外交中に使用された「偽造印」のスタンプが4つあり押印して持ち帰り可能

ふれあい処つしま

対馬博物館の斜め向かい

観光協会も同敷地内にある土産物屋

向かい側の観光物産館は外国人向けの値段設定なので、こちらのほうが値段と質は良い
ただ店が小さいため10名ほどが入ると店内混雑する

上見坂公園

高台から空港滑走路・対馬の景色を展望

街中から同じ道を片道30分往復することになる

烏帽子岩展望所が観光不可の間に代案として観光に入れる

明治時代につくられた砲台跡を見たいのであれば最適な場所である

(他の明治時代の砲台跡は駐車場から徒歩20分など遠いため)

小茂田浜神社

蒙古襲来の地 当時の藩主の銅像あり

駐車場となる海岸は定期的に清掃されており綺麗 (外国からの漂流物を清掃)

小さい神社で御朱印なども無し

椎根の石屋根

小茂田浜神社から5分ほどの距離なのでセットで観光場所に入ることが多い

県指定文化財となっており昔の倉庫

指定文化財となる前に瓦屋根にかえた倉庫もあるため石屋根が残っているものは貴重



南部エリアでの宿泊利用ホテル

東横 INN 厳原

ダブルベットの部屋をシングル利用 北部比田勝の東横インより部屋は狭い
(比田勝はベッド奥にイスとテーブルあり、こちらはベッド奥スペースなしで窓)
ユニットバスですがバスタブ大きめなのは北部と同様
シャワーの水圧がゆるめなこと、朝食ビュッフェが10品程度で品数少なかったことも
北部と同様です。こちらは街中なので眺望はなし

立地は対馬の中心地にあり、ホテルから徒歩5～10分圏内に夕食場所あり

夕食場所付近にスナックも多数あり

スナック料金 2時間3,000円～4,000円(税込・カラオケ代込)が基本

対馬の食事

- ・穴子の水揚げ高が日本一・二を争うトップクラス
- ・島なので海鮮が多い(マグロ・ブリ・ウニなど)
- ・対州そば

つなぎを使わない十割そば そばの実が小さいので他県のように黒い点は入らない
コシはあまりなく切れやすい

送客する際の良いところ

最初にも記載しましたが歴史的背景としては魅力的な島です

教科書では習わなかった歴史の裏側の話など聞いて楽しめました

神社好きにもお勧め

日本海側なので海の色は期待していませんでしたが綺麗な海でした

湾内などは透明度が高く、クルージングやSUP等も人気だそうです

役所や観光協会などが一丸となり観光客を増やすために取り組んでおられます

観光資料の送付はもちろん、登山・クルージングの相談など観光協会に問い合わせれば

丁寧に教えてくれます

送客する際の不便なところ

全旅などクーポン対応可能な施設が少ない

(今回の視察旅行で昼食2回、夕食2回でしたがクーポン可能店は無し

夕食の1件のみ人数などに応じて要相談で10%バックあり)

和式トイレがまだ数多く残っている

観光協会から市に要望書を提出し順次改装していく予定とのこと